


講義日時	2016年10月11日（火） 18:00～19:30
講義タイトル	知的財産と起業（2）
講義概要	<p>企業活動において特許は必要不可欠なものです。また、現場の研究開発者自身にも、特許に関する知識や能力が求められています。一方、大学等において、特許に関する講義や演習等が充実しているとは言えません。</p> <p>そこで、元審査官の経験に基づいて、特許出願準備から特許権取得に至るプロセスのポイントや留意点等を説明いたします。また、審査官による審査官のための特許調査の考え方も紹介したいと思います。これらの考え方を知れば、特許取得に関して、必要以上の人的・経済的コストをかける必要がなくなるかもしれません。また、特許調査の考え方は、研究開発を進める上でも、非常に参考になるものがあります。</p> <p>最後に、修士課程修了後特許庁審査官になり、再び大学に戻ったという奇妙な経歴が、社会を生き抜いて行く際どのように役だったか、お話ししたいと思います。</p> <p>参考図書：</p> <p>『できる技術者・研究者のための特許入門 元特許庁審査官の実践講座』（KS科学一般書） 単行本（ソフトカバー） - 2014/11/12出版</p> <p>※自著の宣伝です。</p>
受講者へ一言	<p>私のような経歴を持っている人はあまりいないと思います。また、特許庁も名古屋大学も辞めた身です。ですので、レクチャー内容であるかないかに関わらず、いろいろなことを質問してください。双方向の楽しい時間にしたいと思います。</p>

講師情報

講師氏名	淵 真悟	
講師氏名よみ	ふち しんご	
所属・役職等	青山学院大学工学部電気電子工学科准教授 元特許庁審査官 弁理士資格有	
略歴等	<p>1975年生まれ</p> <p>1999年 名古屋大学大学院工学研究科材料機能工学専攻博士前期課程修了</p> <p>2002年 同大学大学院工学研究科材料機能工学専攻博士後期課程短縮修了、博士（工学）</p> <p>1999年より約7年間特許庁に勤務し、特許審査に従事</p> <p>2005年12月 特許庁を退職し、2006年より名古屋大学大学院工学研究科助教（着任当時は助手）</p> <p>2013年 青山学院大学工学部電気電子工学科准教授</p> <p>化合物半導体量子構造やガラス蛍光体などの光電子材料の開発、デバイス作製、応用を研究している。普段は、所謂、理工系の教育研究に従事しているが、時々、審査官の経験に基づいた特許セミナーや講演なども行う。</p> <p>趣味は、鉱物採集と美味しい食べ物を堪能すること。</p>	